

高等司法研究科独自の給付型奨学金制度

高等司法研究科では、経済的理由により修学が困難な本研究科の学生を支援するため、個人や企業・団体の皆さまからのご寄附を基金とした「給付型の奨学金制度(修学支援事業基金)」を設けました。2018年度から年額30万円の奨学金を給付しています。

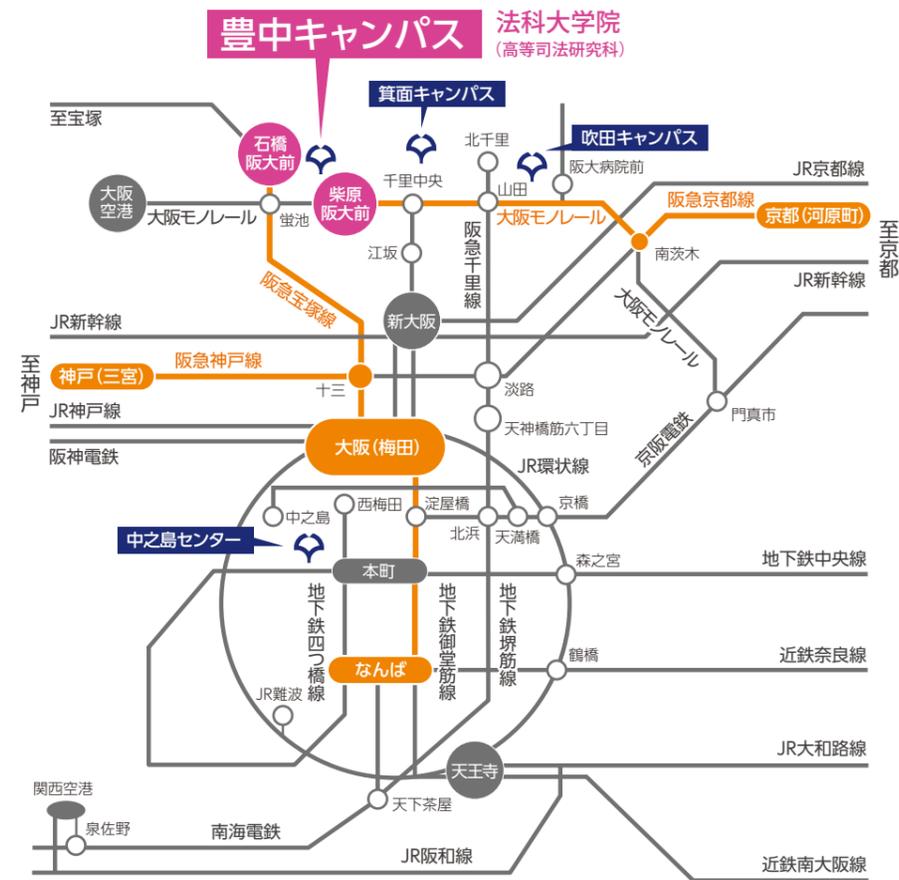
詳しくは教務係へお問い合わせください

その他の経済的サポート

- 授業料免除
大阪大学の入学料免除及び授業料免除制度の適用があります。
- 奨学金
日本学生支援機構(大学院奨学生)、地方公共団体及び民間奨学団体の奨学金の利用が可能です。

(詳しくはWEBをご覧ください)
<http://www.lawschool.osaka-u.ac.jp/scholarship/>

交通アクセス



大阪(梅田)から 約40分

阪急電鉄 大阪梅田駅
↓
阪急電鉄 宝塚線 石橋阪大前駅
(徒歩)
↓
大阪大学豊中キャンパス

なんばから 約55分

地下鉄御堂筋線 なんば駅
↓
地下鉄御堂筋線 梅田駅
(徒歩)
↓
阪急電鉄 大阪梅田駅
↓
阪急電鉄 宝塚線 石橋阪大前駅
(徒歩)
↓
大阪大学豊中キャンパス

神戸(三宮)から 約65分

阪急電鉄 神戸線 神戸三宮駅
↓
阪急電鉄 十三駅
(宝塚線へ乗換)
↓
阪急電鉄 宝塚線 石橋阪大前駅
(徒歩)
↓
大阪大学豊中キャンパス

京都(河原町)から 約65分

阪急電鉄 京都線 京都河原町駅
↓
阪急電鉄 京都線 南茨木駅
(徒歩)
↓
大阪モノレール 南茨木駅
↓
大阪モノレール 柴原阪大前駅
(徒歩)
↓
大阪大学豊中キャンパス

待兼山から羽ばたく。

お問い合わせ

大阪大学大学院高等司法研究科 教務係
〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-6
TEL:06-6850-6948
HPアドレス:
<http://www.lawschool.osaka-u.ac.jp/>

待兼山から羽ばたく。

社会の変化に伴い、法曹の活躍の場は、多種多様な領域へ広がりつつあります。

入学される皆さんが真の「Legal Professionals」に成長し、

本学のある待兼山から、広大な司法の世界へ羽ばたけるよう

私たちは一丸となって、全力でサポートします。



大阪大学法科大学院で学ぶ



高等司法研究科長
水谷 規男

法科大学院制度が始まって17年が経ちました。

大阪大学法科大学院からは、1000人を超える修了生が巣立ち、法曹として、あるいは公務員、企業人などとして、多様な分野で活躍しています。

大阪大学法科大学院では、入学者の多様性を確保する取組、学生一人ひとりの学びの質を向上させるための学習支援の取組(コンタクトチャートシステムなど)、さらには修了後の進路の多様化のための取組(キャリア支援科目の展開や自治体との連携、大学の教育・研究を支える新たな弁護士職の職域を開拓する「智適塾」プロジェクト)などの様々な取組を行うことによって、プロセスとしての学びの質を向上させる努力を重ねてきました。法学部以外の学部出身の人や社会人経験のある人に

開かれた法学未修者コースから、多くの司法試験合格者を出していることも大阪大学法科大学院の強みです。

さらに2020年度からは、法学部に法曹コースが設置され、学部との一貫した教育によって、法曹となるための時間の短縮が図られます。今秋には、法曹コースを3年次で修了する予定の法学部生が法科大学院を受験することになります。法学部で体系的かつ集中的に法律科目を学んできた法曹コース出身者と、多様なバックグラウンドを持つ未修者とは、法科大学院の2年次、3年次では一緒に学ぶのです。そのことによる相乗効果も期待しているところです。法学の知識を単に詰め込んだだけでは、良き法曹になることはできません。司法試験

に合格し、良き法曹となるためには、多面的なものの見方や社会的な常識を身につけることが、そして何よりも同じ志を持つ仲間と切磋琢磨し合うことが大切です。法科大学院の強みは、大学と一緒に学んだ仲間が修了後も仲間として、刺激し合っていくことができることにあります。

大阪大学法科大学院のある豊中キャンパスは、千里丘陵の西端、待兼山にあります。法科大学院生の自習室のある豊中総合学館の上層階からは、南に向かって大阪平野が一望できます。この恵まれた環境の中で志を同じくする仲間とともに学び、これからの社会を支えていく人になる。そんな皆さんの夢を叶える場が大阪大学法科大学院です。

教育理念を支える4つの柱



羽ばたいた先輩たち

OB・OG interview

自分次第で可能性が広がる。それが弁護士という職業の魅力です。



幼少期に海外に住んでいた私は、大阪大学の高等司法研究科に入学しましたが、将来的には、国際機関などで働くことを漠然と希望しており、法曹になること自体を迷っていた時期もありました。しかし、ロースクールの先生方や実務家の先生方のお話を伺う中、弁護士という職業は、あらゆる分野、あらゆる方法で活躍の場がある職業で、無限の可能性があるという点に魅力を感じ、弁護士を志望するようになりました。

ロースクール時代、倒産法の分野でご活躍されている実務家の先生方の講義を受ける機会があり、そこで伺った仕事の話に、純粋にかっこよさを感じ、倒産法

分野に興味を持つようになりました。倒産法分野は、一見してマイナスイメージを持たれがちな分野ですが、倒産状態を放置せず、何らかのアクションを取ることによって、債権者だけでなく、その事業自体やその会社の従業員を守ることになり、ひいては社会の役に立ち得るものであるということを学びました。

私は、司法修習を経て、2020年の1月より、一般民事事件から会社・渉外関係事件まで幅広い分野の事件を扱う大阪の弁護士事務所に所属しています。倒産分野の事件も扱わせていただき、ロースクールにおいて、座学で学んだことを思い出しつつ、実務にも学びながら、充実した日々を送っています。

そして、ロースクールの先生方や実務家の先生方から伺っていたとおり、自身の考え方や働き方次第で、どのようなこともできることが弁護士として働く魅力であると実感し、その気持ちを忘れず、日々精進していきたいと思っています。

法曹は、チャレンジングであり、魅力的な職業です。皆様と一日も早く、同じ法曹として切磋琢磨できる日を楽しみにしています。



事件や当事者に向き合い、真摯に取り組むことが私のモットーです。



物証を発見したり新たな供述を引き出せたとき、充実感を味わえます。

法科大学院での学びの日々は、実務家法曹の仕事とは何なのか、法曹としてどのような仕事がしたいのか、を考えるきっかけを与えてくれました。弁護士、検察官、裁判官として活躍しておられる先生方のお話を伺うのは興味深く、自分自身の法曹としての将来像を具体化することができましたし、それは司法試験へのモチベーションになりました。基本書に載っていない実務を垣間見る機会を与えて頂いたことは、今思い返しても貴重な機会であったと思います。

法科大学院では、多くの友人に恵まれました。講義だけでなく、実務家法曹という同じ目標を持つ仲間同士で自主ゼミを組む等して切磋琢磨し、ときには、日々の努力を労り合ったりと、励まし合える環境を持つことができました。このようなつながりは、実務に出た今でも、仲間の活躍を知ることで、私も頑張ろう、成長しようという気概に繋がっております。そういう意味でも、法科大学院での日々は、今も実務家法曹として成長する糧になっていると実感しています。

私が裁判官を志したきっかけは、法科大学院でのエクスターンシップでした。悩み、困惑している

私は、ロースクール修了後、検事として働いています。仕事は多忙を極めますが、自分の想像力を働かせながら、「こんな証拠があるのではないか」「この人はこんな事実を知っているのではないか」と予想しながら捜査し、物証を発見したり、新たな関係者供述を引き出したりできたときは本当に楽しく、充実感にあふれています。

そのような捜査をするための大前提となるのが、大学からロースクールにかけて積み重ねてきた法律の知識です。資格取得のために勉強してきた知識を、直接その後の仕事に活かすことができるという点は法律家のやりがいの大きな一つといえると思います。

勉強をするにあたり、阪大ロースクールは、私にとって施設面においても講義の質においても、最適な環境でした。特に阪大ロースクールの特徴として、どの先生も指導熱心で、学生との距離も近く、先生の部屋に質問に行くと即座に疑問点を解消することがしやすいという点が挙げられます。また、実務科目では、一線で活躍する法曹の姿に触れることができ、モチベーションの維持・向上に大きく役立ちます。

私自身、検事を目指すきっかけとなったのは、派遣

当事者双方の気持ちを聴き取り、より良い解決策・選択肢を考えたいと思いました。民事、少年事件を経験し、現在主に刑事事件を担当しております。事件や当事者に向き合い、真摯に取り組むことをモットーに、日々職務に向き合うことそれ自体が、私の裁判官としてのやりがいです。



裁判官

佐藤 いぶき Sato Ibuki

2014年度 法学未修者コース修了
福岡地方裁判所小倉支部 判事補

検察官の先生から仕事の話聞き、検事の仕事に関心をもったことでした。ぜひとも、阪大ロースクールで、司法試験合格、そしてその先に待つ実務家としての活躍を、単なる夢ではなく必ず到達すべき目標として、精一杯勉強に励んでください。



検察官

小西 総一郎 Konishi Soichiro

2014年度 法学未修者コース修了
大阪地方検察庁堺支部 検事

法曹の知識・能力を

固める

法律基本科目

公法系、民事系、刑事系の科目は、基礎→応用→発展と着実に知識と能力を積み上げていけるような段階的履修モデルを提供し、高度な法的知識・能力を培います。

1年次
基礎

法学未修者が法科大学院の講義に耐えうるだけの法律学の基礎的な学識を修得する。

2年次
応用

基礎科目で習得した基礎学識を応用する力を、事例研究などを通じて身につける。法学既修者は基礎科目を修得したものとみなし、応用科目から学び始める。

3年次
発展

発展的な事例問題を、理論と実践、実体法と手続法など異なる視点から検討し、積み上げ型学修の総仕上げを行う。



Teacher's Voice

法律基本科目
松本 和彦 教授

知識だけでなく事案解決に必要な能力の修得を目指す

法律基本科目である「憲法応用1」では、仮設の事例問題を素材に、憲法の基本知識を応用し、具体的な事案解決に資する憲法解釈論の組立て能力の涵養を目指しています。そのため、判例や学説などの知識の定着を図るだけでなく、事案の分析や先例の区別といった、事案解決に必要な能力も併せて修得できる授業を心がけています。



開講科目はP.7をご覧ください

法曹の素養を

深める

基礎法学・隣接科目

法曹としての素養を深めることを目的として基礎法学分野、隣接諸分野に関する約10科目を開講しています。幅広い教養と豊かな人間性を培い、複眼的思考による深い洞察力を養います。

基礎法学分野

法や裁判の基礎的理解を深める。

人間性 教養 洞察力

法学に限らない幅広い視野や関心から法や紛争をとらえる。



Teacher's Voice

基礎法学・隣接科目
三阪 佳弘 教授

「法」をデザインできる能力を養う

基礎法学・隣接科目は、法曹としての素養を深めることを目的とした科目です。ここでは、いまある「法」を固定的・不変のものとして見るのではなく、変わりうるものとして批判的に検討します。これらの科目では、社会科学の様々な手法によって法を観察する能力を養います。そのことは、皆さんの未来に向けた法のデザイン力を高めることになるでしょう。



開講科目はP.7をご覧ください

理論と実務を

架橋する

法律実務基礎科目

法曹としての基礎的な実務能力及び責任感・倫理観を身につける核となる必修科目に、幅広い分野で理論と実務を架橋し応用能力の深化を図る選択必修科目を合わせて約20科目開設しており、主に実務家教員が担当します。

実務能力

法曹に求められる倫理観、事実認定の方法など、実務の基礎を身につける。

応用能力

模擬裁判や文書作成などを通じて、知識を実践的に使いこなす。



Teacher's Voice

法律実務基礎科目
川上 良 教授

よりよい社会を支えるためにチャレンジし続ける法曹へ

法律実務基礎科目は、第一線で活躍する実務家教員が担当し、積み上げた知識を基礎に、「よりよい社会を築く力を一人ひとりが身につけること」が目標です。実務家教員ならではの、リアルな現場、そのとき法曹として何を考え、どう行動したかをリアルに伝え、皆さんとともに考え、チャレンジする機会がここにあります。



開講科目はP.7をご覧ください

法曹の可能性を

広げる

展開・先端科目

法曹としての専門性をさらに高め、現代社会における最先端の法的諸問題への柔軟な対応力と学識を涵養するとともに、学生個々のキャリアプランに基づく様々な教育ニーズが満たされるよう40以上の多種多様な科目を開講しています。特に学生の関心が高いと思われる「知的財産法」「ビジネス法」に関する科目を充実させ、3つの具体的な履修モデルを提案しているのが本学の特長です。

知的財産権に関する
専門的法曹を目指すなら

履修モデル
1

知的財産権プログラム

知的財産保護の具体的な仕組みや紛争の処理、知的財産と訴訟との関係などを重点的に学ぶ。

知的財産法1・2 / 経済法1・2・演習 / 特殊講義C(特許・著作権訴訟) / 特殊講義C(アジア知的財産法) 等

企業法務に関わる
法曹を目指すなら

履修モデル
2

企業財務プログラム

株式・社債の発行など企業が外部から資金を調達する際に利用する法制度について実務の視点を踏まえて学ぶ。

倒産法基礎・応用・演習 / 税法1・2・演習 / コーポレート・ファイナンス / 金融法 / 金融商品取引法 / 信託法 / 特殊講義C(金融取引の契約実務) 等

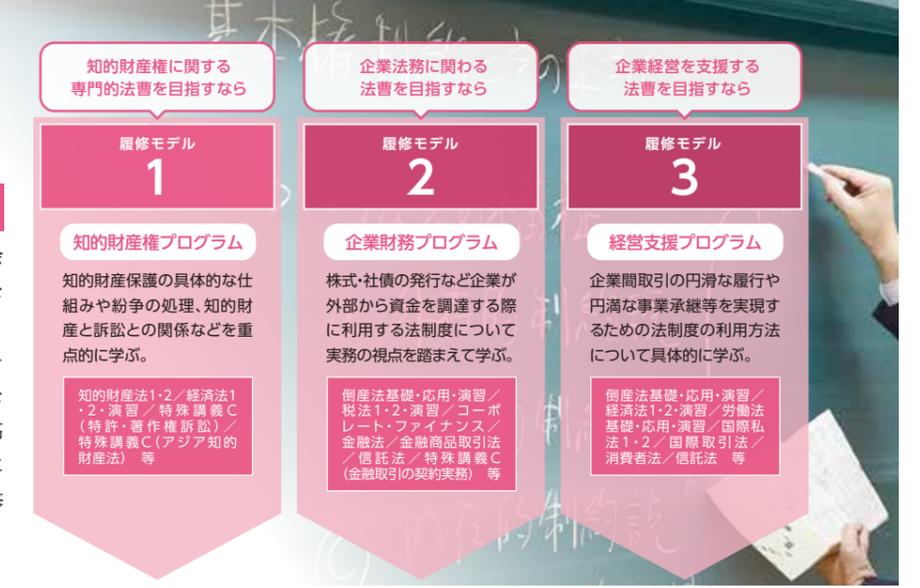
企業経営を支援する
法曹を目指すなら

履修モデル
3

経営支援プログラム

企業間取引の円滑な履行や円満な事業承継等を実現するための法制度の利用方法について具体的に学ぶ。

倒産法基礎・応用・演習 / 経済法1・2・演習 / 労働法基礎・応用・演習 / 国際私法1・2 / 国際取引法 / 消費者法 / 信託法 等



Teacher's Voice

展開・先端科目
水島 郁子 教授

選択科目ごとに充実した講義科目を用意

司法試験の初日、最初の試験が選択科目です。知的財産法や経済法、労働法等8科目から選択しますが、本学では、どの科目を選択しても、十分に学習できる講義科目を用意しています。私が担当する「労働法応用」では、共通の専門的関心や目標を持つ十数名が本試験を率先良く乗り切れるよう、切磋琢磨しています。



開講科目はP.7をご覧ください

開講科目

(2021年4月1日現在)

法律基本科目		
区分	科目名	配当年次
公法系科目	憲法基礎 1	1
	憲法基礎 2	1
	憲法応用 1	2
	憲法応用 2	3
	連携講義 (憲法発展演習)	2又は3
	行政法基礎	1
	行政法応用 1	2
	行政法応用 2	2
	公法総合演習	3
	民事系科目	民法基礎 1
民法基礎 2		1
民法基礎 3		1
民法基礎 4		1
民法応用 1		2
民法応用 2		2
民法応用 3		3
民法応用 4		2又は3
会社法基礎		1
会社法応用 1		2
会社法応用 2		2
コーポレート・ガバナンス		2又は3
民事訴訟法基礎		1
民事訴訟法応用 1		2
民事訴訟法応用 2	2	
民事訴訟法応用 3	3	
刑事系科目	刑法基礎 1	1
	刑法基礎 2	1
	刑法応用 1	2
	刑法応用 2	2
	刑事訴訟法基礎	1
	刑事訴訟法応用	2
	刑事演習	3
連携講義 (刑事証拠法演習)	2又は3	
その他	導入演習	1

法律実務基礎科目	
科目名	配当年次
法曹倫理	2
裁判実務基礎 (民事)	2
裁判実務基礎 (刑事)	3
刑事法律文書作成 1	2又は3
刑事法律文書作成 2	2又は3
公法訴訟	3
弁護実務	3
エクスターンシップ 1	2又は3
エクスターンシップ 2	3
模擬裁判 (民事)	3
模擬裁判 (刑事)	3
リサーチ&ライティング 1	1
リサーチ&ライティング 2	2
債権保全・回収の実務	3
企業再建の実務	3
特殊講義 A (民事裁判実務演習)	3
特殊講義 A (リーガル・プロフェッションの最先端)	1,2又は3
特殊講義 A (政策実践と法)	2又は3
特殊講義 A (契約実務)	2又は3

基礎法学・隣接科目	
科目名	配当年次
法理論	1
法理学	1,2又は3
比較法史	1,2又は3
法社会学	1,2又は3
現代政治学	1,2又は3
法と経済学	2又は3
財務報告戦略	2又は3
生命倫理と法	2又は3

展開・先端科目		
科目名	配当年次	
A	倒産法基礎	2又は3
	倒産法応用	3
	倒産法演習	3
	税法 1	2又は3
	税法 2	2又は3
	税法演習	3
	経済法 1	2又は3
	経済法 2	2又は3
	経済法演習	3
	知的財産法 1	2又は3
	知的財産法 2	2又は3
	労働法基礎	2又は3
	労働法応用	2又は3
	労働法演習	3
	環境訴訟	2
	環境法	3
	国際法 1	2又は3
	国際法 2	2又は3
	国際私法 1	2又は3
国際私法 2	2又は3	
国際取引法	2又は3	
民事回収法	2又は3	
A D R 法	2又は3	
B	企業課税法	3
	消費者法	3
	コーポレート・ファイナンス	2又は3
	金融法	2又は3
	金融商品取引法	3
	社会保障法	3
	少年法	2又は3
	国際民事訴訟法	3
	信託法	3
	課題研究 1	3
	課題研究 2	3
	特殊講義 C (特許・著作権訴訟)	2又は3
	特殊講義 C (アジア知的財産法)	2又は3
	特殊講義 C (土地境界紛争の諸問題)	3
特殊講義 C (スポーツ法)	2又は3	
特殊講義 C (法医学)	2又は3	
特殊講義 C (金融取引の契約実務)	2又は3	
特殊講義 C (外国文献研究 1)	2又は3	
特殊講義 C (外国文献研究 2)	2又は3	

必修科目 選択必修科目 選択科目

教員紹介

開講科目 / 教員紹介

法曹界の第一線で活躍する実務家・研究者の教員が、皆さんの教育に携わります。

専任教員

 教授 青竹 美佳 民法	 准教授 片桐 直人 憲法	 教授 川上 良 弁護実務	 教授 久保 大作 商法
 准教授 品田 智史 刑法	 教授 高橋 智也 民法	 教授 高原 知明 民事訴訟法	 准教授 武田 直大 民法
 教授 谷口 勢津夫 税法	 教授 茶園 成樹 知的財産法	 教授 名津井 吉裕 民事訴訟法	 教授 野呂 充 行政法
 教授 藤本 利一 民事訴訟法	 教授 松井 和彦 民法	 教授 松尾 健一 商法	 教授 松本 和彦 憲法
 教授 三阪 佳弘 法制史	 教授 水島 郁子 労働法	 教授 水谷 規男 刑事訴訟法	 准教授 村西 良太 憲法
 特任教授 神谷 善英 民事実務	 特任教授 新谷 俊彦 法曹倫理	 特任教授 橋本 円 金融法	(五十音順)

兼任教員 (学内)

教授 大久保 規子	行政法	教授 豊田 兼彦	刑法	教授 的場 かおり	法理論
教授 上川 龍之進	現代政治学	教授 長田 真里	国際私法	教授 村上 正直	国際法
教授 坂口 一成	中国法	教授 仁木 恒夫	民事訴訟法	准教授 地神 亮佑	社会保障法
教授 高井 裕之	憲法	教授 林 智良	ローマ法	准教授 長谷川 佳彦	行政法
教授 高橋 明男	行政法	教授 福井 康太	法社会学	准教授 和仁 健太郎	国際法
教授 武田 邦宣	経済法	教授 福田 雅樹	情報通信法	特任教授 野村 美明	国際私法
		教授 松田 岳士	刑事訴訟法	特任准教授 陳 思勤	知的財産法
		教授 松本 博志	法医学	特任助教 申 賢哲	知的財産法

担当科目・職位は 2021 年 4 月以降のものです

在学中はもちろん、入学前から修了後まで続くサポート。
社会の要請や学生の皆さんの要望を随時取り入れ、進化し続けています。

弁護士アドバイザーによるサポート

大阪大学法科大学院では本学のOB・OG弁護士をアドバイザーとして招いています。
現役弁護士ならではのサポート内容について、アドバイザーの飯田弁護士と小林弁護士に話を伺いました。



アレグロ法律事務所
飯田 亮真さん

フェニックス法律事務所
小林 美紀さん

ロースクールの「先輩」として何でも
気軽に相談できる関係性を築いています。

飯田:私が携わっているのは「再チャレンジ支援プログラム」。社会人や他学部出身者など、これまで法学を学んだことのない純粋未修の院生を含む自主勉強会に参加し、日頃の勉強方法、試験対策、答案の書き方などをアドバイスしています。

小林:私も飯田先生と同じく「再チャレンジ支援プログラム」を担当しています。こちらから一方的に話すのではなく、「私はこうじゃないかと思うけどみんなはどう？」と問いかけることで、学生の皆さんが主体性を持って考え、議論が弾むような場を作ることが心がけています。

飯田:なるほど。私がかがけているのは弁護士という職業の実態ややりがいを、自分の経験を通して伝えることです。例えば刑事訴訟法の勉強会なら、自分が担当した国選の刑事弁護の様子を守秘義務に反しない範囲で織り交ぜ、実際の裁判の様子や弁護士としての私の考えなども話します。

小林:現役弁護士だからこそできるサポートです

よね。私は「弁護士」というよりはロースクールの「先輩」というスタンスで学生の皆さんと接しています。壁を作らず、何でも質問できるような関係性を築きたいと思っています。

飯田:教える側と学ぶ側の距離が近いのは本大学院のよき伝統ですね。私が院生だった頃も、先生方やサポートで来てくださる弁護士さんに、気軽に相談ができました。

小林:勉強は一人で黙々と取り組むもの、と考えている方もいるかもしれません。けれど知識や経験を得るうえで、自分の殻にこもるのは逆効果です。私たちアドバイザーや先生方、そして共に合格を目指す仲間と積極的に関わり、切磋琢磨することが、司法試験合格への近道だと思います。

弁護士アドバイザー

- | | | |
|----------|---------|-------------|
| 大竹 裕司さん | 中川 善弘さん | 林 祐樹さん |
| 大西 健太郎さん | 中野 知美さん | 春田 尚純さん |
| 杉井 英昭さん | 中野 陽介さん | 楢垣 建太さん |
| 玉巻 みちるさん | 西川 大貴さん | 村田 航椰さん |
| 辻本 圭太さん | 林 雅義さん | (2021年3月現在) |

司法試験合格者の声



弁護士アドバイザーに支えられ合格

堀内 みづ希さん 法学未修者コース修了 大阪市立大学法学部卒

私が司法試験に合格できたのは、弁護士アドバイザーによるサポートのおかげです。弁護士アドバイザーには、学習の疑問点に加え、弁護士としてのやりがいや具体的な自学自習方法もたくさんお伺いしました。これらのアドバイスのおかげで、高い学習意欲を保ち、効率的な勉強を進めることができました。



入学前サポートが充実

大岩 祐司さん 法学未修者コース修了 北海道大学工学部土木工学科卒

純粋未修者の私は、入学前には授業についていけないかとても不安でした。しかし、本学の入学前指導に参加し、実際に導入授業を体験することで、授業に対する心構えができ、自ずと不安が解消されました。また、判例の読み方等を事前に学習することができ、入学後の授業にスムーズに入っていました。

特色のあるサポート

入学前

■ 合格者専用サイト
本大学院のWEBサイト内に合格者専用掲示板を設け、入学後の学習や学生生活に必要な情報をお伝えします。

■ 入学前指導

入学前の3月に法律文書作成講座や学習相談会を実施。入学後の授業にスムーズに適応できるよう支援しています。

在学中

■ 自習室
学生一人ひとりに固定の席を用意しています。24時間利用可能だから授業の予習復習や自主学習に自分のペースでいつでも取組めます。

■ 院生談話室

談話室も24時間利用できます。パソコン、Wi-Fi、プリンター、コピー機を完備。学生は1800枚まで無料でコピーが取れます。

■ OULS'SA (オルサ掲示板)

弁護士アドバイザーと学生の質疑応答をする専用のWEB掲示板。場所や時間を問わず意見交換や情報共有ができるとともに過去のやりとりも見ることができます。本学修了後も利用可能。

■ 司法試験に向けた企画

司法試験に備え、夏に短答式企画を実施します。秋に法律文書練成講座を開催し、文章を書く力を鍛えます。

修了後

■ 自習室の継続利用
法科大学院専用の自習室を修了後も無料(特待修生)または有料(自習室利用修了生、聴講生)で利用できます。

■ 修了生勉強会

修了生による自主勉強会にも弁護士アドバイザーを配置し、支援します。

■ 修了生専用サイト

修了後のフォローアップとして専用掲示板を開設。修了生向けの各種イベント情報等を発信しています。

■ リスタートの会

司法試験合格がかなわなかった人を対象に、次年度の合格に向けて相談会を開催しています。

合格後

■ 智適塾のインターン

本学を修了した若手弁護士・弁理士のキャリア支援として、経験値の高い弁護士・弁理士とチームで大学内の研究活動などに関わるインターン制度を設けています。またインターンによる成果は教育にも還元されます。
<http://chitekijuku.iprism.osaka-u.ac.jp/>

■ 同窓会

会員相互の交流・親睦及び協力・扶助を図るべく年1回「同窓会総会」を開催。同じ学び舎で学び、現在は様々な業界で活躍する同窓生と忘れない意見交換ができる機会を提供しています。

再チャレンジ支援プログラム



社会人や法学部以外の学部を経て入学した学生を支援するプログラム。未修学生を中心とした自主勉強会に弁護士アドバイザーが参加し、答案の書き方、問題の考え方なども含めた細かな疑問にその場で対応します。有意義な質疑応答を通じて未修・既修の差を埋め、司法試験に向けた学習を効果的に進められるようサポートします。

サポート体制をよりよくするため、随時見直しを行っていますので、サポート内容は年度により変更の可能性があります。

コンタクト・ティーチャー



専任教員がコンタクト・ティーチャーとなり、定期面談を通じて個々の学習を支援します。年2回、5月と11月に実施され、過去の司法試験合格者のデータなど客観的な数値データに基づき、学習方法や今後の学習計画についての的確なアドバイスを送ります。また学習面だけでなく、進路についても気軽に相談することができます。

交流会(まっちゃ会)・合格体験報告会



学生・教員・OB・OGによる交流会(まっちゃ会)。新入生交流会、教員との交流会、司法試験合格者の体験を聞く報告会などが開催されます。学生同士やOB・OG、教員との交流は、学習面でプラスになるのはもちろん、卒業後も続く繋がりなど、様々なものをもたらしてくれます。

**あの本もこの本も!
大阪大学の教員が書いています。**

大阪大学には、法科大学院生や実務家にも定評のあるテキストを執筆したスタッフがたくさん在籍しています。授業をはじめとした様々な機会を通じて、テキストの理解を深める丁寧な解説はもちろん、背景にある考え方や、もう一歩踏み込んだ発展的な思考まで、ぜひ自分のものにしてください。

本学教員の著書(一部)

1年次生 T.S.さん

青山学院大学法学部卒

手厚いサポート体制が、未修者の司法試験合格率の高さに繋がっていることを実感しています。

私は、大学を卒業して一般企業で働いた後、本学へ入学しました。本学を選んだ理由は、未修者の司法試験合格率の高さと手厚い学習サポートです。一般的に未修者の司法試験の合格率は非常に低いと言われており、未修者での入学を不安に思われる方も多いと思います。この点について、本学においては、特に社会人を含む未修者向けに「再チャレンジ支援プログラム」という充実したサポートが用意されており、学外でも実務家の先生方に直接ご指導いただけます。

また、コロナ禍に伴う学習環境の変化に不安を感じていましたが、本学ではオンラインによる授業体制がいち早く整えられており、質疑応答についても丁寧に対応していただけます。このように、本学では未修者のニーズに即したサポート体制が組まれており、このことが未修者の司法試験合格率の高さに繋がっていると感じています。同じ目標に向かってともに努力する仲間として、みなさまの入学を楽しみにしています。

2年次生 Y.S.さん

慶應義塾大学法学部卒

先生との距離が近く、親身に相談にのってもらえるので安心して学習に取り組むことができます。

私が本学に入学した理由は、東京から離れて生活してみたいと考えたことにあります。安直な理由ですが、生まれてから一度も東京を離れたことがなかったので、心機一転して勉強に取り組むという意味でもよい選択だったと思っています。本学では、先生に気軽に質問できる時間(オフィスアワー)が設けられており、また、面談の機会も定期的に確保されているため、先生との距離が非常に近いと感じます。私自身、オフィスアワーを積極的に活用することで、授業中に理解が不十分

だった点を確認したり、友人の質問に対する先生の解答を聞いて授業内容の理解を深めたりすることができました。また、先生との面談では、自分の成績を確認した上で、司法試験に向けてどのような勉強をすべきかについて相談することもできました。学生の求めに応じて先生が親身に相談にのってくださるので、時には軌道修正しながら司法試験合格に向けて学習を進めることができます。

ある1年次生の1週間

	朝 ~8:50	1限 8:50 ~ 10:20	2限 10:30 ~ 12:00	3限 13:00 ~ 14:30	4限 14:40 ~ 16:10	5限 16:20 ~ 17:50	6限 18:00 ~ 19:30	夜 19:30 ~
月	起床~ 予習	予習 民法基礎1について予習	民法基礎1	自習室で基本書を読む	再チャレンジ支援プログラムの準備	再チャレンジ支援プログラム 弁護士アドバイザーとの質疑応答で基礎力を養う		
火	6:00に起床。1限に授業がある日は予習。大学院までの移動時間にスマホで条文を素読してできるだけ法律に慣れる。	予習 民法基礎2について予習	民法基礎2	ローライブラリーで判例のDVDを見る	予習 憲法基礎1について予習	予習 翌日の刑法基礎1について予習	予習 翌日の民法基礎1について予習	帰りの電車で法学の基本書を読んだり短答式の問題集を解く。帰宅後は授業の予習と復習。24時頃に就寝。
水		刑法基礎1	法理論	復習・予習 刑法基礎1と法理論について復習、リサーチ&ライティング1について予習	リサーチ&ライティング1	予習 翌日の民法基礎1について予習		
木		民法基礎1	予習 導入演習について予習	導入演習	導入演習	特殊講義A	オフィスアワー 進路について先生の意見を聞く	
金		予習 民法基礎2について予習	民法基礎2	自習室で期末試験の傾向を調べる	未修の友人と学習方法の意見交換	定期面談 学習計画についてアドバイスを受ける	懇親会 同学年の友人や先生方と親睦を深めつつ多様な考え方に触れる	

*2020年度は、新型コロナウイルス対応で3限以降を30分繰り下げて実施しています。

ある1年次生の1年

4月~
未修の不安を交流会で解消
学生・教員・OBOGによる交流会。勉強法の相談や先輩の体験談などで未修の不安を解消。

5月~
緊張感のある授業で基礎力を養う
基礎力を養う期間。少人数クラスなので緊張感があり自ずと熱が入る。勉強に不安を感じたら定期面談で先生に相談。

8月~
合格者体験報告会でモチベーションアップ
春~夏学期は授業の予復習で手一杯だったので夏休みは知識の定着や応用を意識して勉強してみる。もちろん秋以降の予習も大事。9月の「司法試験合格体験報告会」で、未修から合格した先輩の話が聞けモチベーションがアップした。

11月~
自主ゼミで自分の問題点を把握
秋~冬学期から勉強内容も増え、大変だけど、慣れてきた実感も。そこで友人たちと判例を検討する自主ゼミを開始。自分ひとりでは気が付かなかった問題点を把握できたり、友人の勉強方法を参考にしたり、とてもためになった。11月の定期面談では秋~冬学期の期末試験に向けた勉強方法を相談。

2月~
1年次の学びに加え2年次への準備も
緻密なカリキュラムと先生や弁護士アドバイザーのサポートのおかげで、4月から入ってくる既修生に負けない実力がついたと感じる。けれどここからが正念場。苦手科目を春休み中に克服するため、授業の総復習に取り組み。4月以後、司法試験合格までの勉強計画を立て、選択科目の選択や2年次の履修計画を立てる。

コンタクト・ティーチャーとの定期面談で勉強への不安が取り除けました。

エクスターンシップに参加することで、将来のビジョンがはっきりしました。

ある2年次生の1週間

	朝 ~8:50	1限 8:50 ~ 10:20	2限 10:30 ~ 12:00	3限 13:00 ~ 14:30	4限 14:40 ~ 16:10	5限 16:20 ~ 17:50	6限 18:00 ~ 19:30	夜 19:30 ~
月	起床~ 予習	予習 裁判実務基礎について予習	裁判実務基礎(民事)	院生談話室のパソコンで資料を出力	行政法応用2	自主ゼミ 判例百選を素材に基礎知識を確認		主に24時間開放の自習室を使用し、授業の予復習や司法試験対策の勉強。(予習が間に合わない科目は、土日も自習室で勉強)実務家の講演会や懇親会に参加することも。就寝は平均24時頃。
火	5:30に起床、準備の後、授業の予習をしてから大学院へ。	民法応用1	予習 知的財産法1について予習	自習 先週学習した項目を総復習	知的財産法1	知的財産法1	オフィスアワー 自主ゼミの疑問点を先生に質問	
水		予習 憲法応用1について予習	憲法応用1	民事訴訟法応用1	復習 民事訴訟法応用1について復習	再チャレンジ支援プログラム 未修生を含んだ勉強会で、アドバイザーの助言を受けながら、自身が学んだことを説明する力を磨く		
木		予習 会社法応用1について予習	会社法応用1	自習 ローライブラリーで判例解説を調べる	16:20からの自主ゼミに向けて答案作成	自主ゼミ 主に期末試験対策。憲法の事例問題について、学生同士で論点を議論する		
金		予習 刑事訴訟法応用1について予習	予習 刑法応用1について予習	刑事訴訟法応用	刑法応用1	自習 自習室で短答式の問題集を使って勉強	懇親会 息抜きの日を作りリフレッシュ	

*2020年度は、新型コロナウイルス対応で3限以降を30分繰り下げて実施しています。

ある2年次生の1年

4月~
授業を通じて課題を発見する
授業が始まり、基礎力の不足している分野があることに気がつく。これからの課題が見つかった。

5月~
疑問を感じたらオフィスアワーを活用
既修者にとって1年目は応用力を養う期間。独習で解決できない疑問点は、オフィスアワーを積極的に活用し先生に質問。

8月~
司法試験へ向けて実践的な力を付ける
春~夏学期の復習と秋~冬学期の予習に加え、司法試験へ向けた勉強も。参考書で短答や論文の過去問を解くほか、司法試験本番を意識して判例の検討をする。

11月~
定期面談で勉強の方針が明確に
1日3~4時間の自習に加え、自主ゼミに積極的に参加。仲間と切磋琢磨することで授業の補完や試験対策も捗る。11月の定期面談ではコンタクト・ティーチャーと今後の学習プランについて話し合い、やるべきことが明確になった。

2月~
キャリア形成のためエクスターンシップに参加
キャリア形成のため、授業の一環として法律事務所・企業法務部門・地方公共団体などにおいて法律実務を体験し学ぶことができるエクスターンシップに参加。憧れの弁護士事務所での研修を通じて、実務の実際や法曹の心構えを教えていただいた。

3年次生 M.S.さん

大阪大学法学部国際公共政策学卒

本学の特徴は学生同士のゼミが活発なこと。アウトプットの機会を、ゼミを通して作ることができます。

私は大阪大学法学部の在学中に、学習環境や実績が申し分ないと思ったため、本学に進学しました。本学の特徴は学生同士のゼミが活発な点だと思います。友人とゼミを組んで勉強する雰囲気があるので、勉強がしやすいです。ロースクールではアウトプットの機会が少なくなりがちですが、ゼミでこれを補っています。また、先生方も添削や質問に快く対応して下さるので、授業以外の自習環境にとっても恵まれています。

教員や教務係が学生を親身にサポートして下さるのも良い点です。コロナ禍でも変わらず質の高い授業を提供したり自習室を開けたりできるように、奔走して下さりました。このように本学では心強いサポートのもと、充実した環境で勉強できます。

心強い先生方や仲間たちと司法試験本番を意識しながら勉強しています。

ローライブラリー



法律関係の図書を所蔵しています。学習に必要な判例などを検索できるDVDやインターネットリソースも利用可能。

模擬法廷



法廷実務およびプレゼンテーション能力をはじめとする法廷技術の実践的な学修を行う施設です。

専用自習室



24時間利用可能。学生一人ひとりに固定の席が割り当てられており、いつでも好きな時に自習や予習復習ができます。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、オンラインでの実施を含め、一部変更が生じています。

各種データ

司法試験結果

2020年司法試験結果

受験者	短答合格者	最終合格者
90人	66人	34人

最終合格者数・受験者合格率の推移

試験年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020
最終合格者数(人)	48	42	66	50	46	34
受験者合格率(%)	29.1	26.8	40.7	37.6	41.1	37.8

累積合格者・累積修了者

累積合格者数	累積修了者数
728人	1,121人

修了生の進路状況 (2021年3月1日現在)

修了年度	司法試験合格者										
	司法修習中	任官任検		弁護士				公務員	その他		
		裁判官	検察官	法律事務所	公務員・ 公的機関	企業内 弁護士	起業		企業	進学	不明
2013	0	1	3	43	1	4	0	0	1	0	0
2014	3	2	3	46	0	1	4	0	1	0	3
2015	3	0	2	34	0	3	0	0	1	1	0
2016	5	1	5	41	0	4	0	1	0	0	1
2017	2	0	1	31	0	1	0	0	0	0	0
2018	1	1	0	16	0	0	0	0	0	0	0
2019	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
計	19	5	14	211	1	13	4	1	3	1	22
%	6.5%	1.7%	4.8%	71.8%	0.3%	4.4%	1.4%	0.3%	1.0%	0.3%	7.5%

2021年度入学試験結果 (2021年3月31日現在)

志願者(人)						
一般選抜			特別選抜 (法学部3年次生)	特別選抜 (社会人等)	特別選抜 (グローバル法曹)	計*
法学未修者 コース	法学既修者 コース	小計				
99	256	355	20	30	7	412(118)

主な出身大学(合格者)

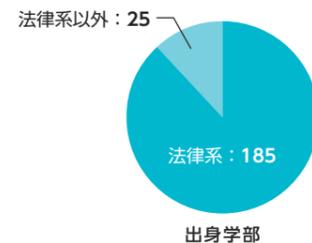
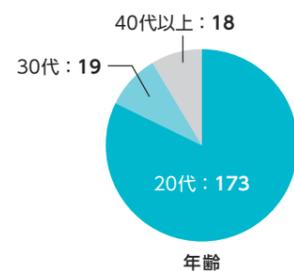
大阪大学	40
同志社大学	22
京都大学	16
神戸大学	16
関西大学	12
立命館大学	7
近畿大学	5
九州大学	4
北海道大学	4

合格者(人)						
一般選抜			特別選抜 (法学部3年次生)	特別選抜 (社会人等)	特別選抜 (グローバル法曹)	計*
法学未修者 コース	法学既修者 コース	小計				
29	115	144	11	14	5	174(56)

* ()は女子内数

在籍者(人) (2020年5月1日現在)

在籍者数 210
(内社会人 33)



入試案内

法科大学院が求める学生像(アドミッション・ポリシー)

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、高等司法研究科では、次の学生を求めます。

1. 法学以外の専門的知識を十分に修得し、または、社会において多様な知識を獲得し、経験を積んでおり、自らが設定する課題を探索しようとする強い意欲と、厳格な成績評価・修了認定に耐えるだけの努力をする能力を備え、かつ、柔軟な発想のもとに「考える」という論理的プロセスを受け入れることができ、国際化による変化に対応しうる能力を有する学生
2. 法学の基礎的な学識を既に修得しており、自らが設定する課題を探索しようとする強い意欲と、厳格な成績評価・修了認定に耐えるだけの努力をする能力を備え、かつ、柔軟な発想のもとに「考える」という論理的プロセスを受け入れることができ、国際化による変化に対応しうる能力を有する学生

選抜区分	特別選抜(社会人等)	特別選抜(グローバル法曹)
対象	社会人・他学部(他学科)卒業生	外国語能力に優れた方
コース	法学未修者コース	法学未修者コース
定員	10名程度	5名程度
選抜	第1次選抜(書類審査) 8月下旬(予定)	第2次選抜 9月中旬(予定)
試験会場	大阪会場*	
合格発表	10月下旬(予定)	

選抜区分	一般選抜			
対象	法学既修者		法学未修者	
コース	法学既修者コース		法学未修者コース	
定員	35名程度		10名程度	
選抜	第1次選抜(書類審査) 10月中旬(予定)	第2次選抜 11月上旬(予定)		
試験会場	大阪会場*			
合格発表	12月上旬(予定)			

選抜区分	特別選抜(法曹コース5年一貫型)	特別選抜(法曹コース開放型)
対象	本研究科と法曹養成連携協定を締結している法曹コースを修了見込みの者	法曹コースを修了見込みの者
コース	法学既修者コース	法学既修者コース
定員	12名	8名
選抜	第1次選抜(未定) 第2次選抜(9月中旬(予定))	第1次選抜(未定) 第2次選抜(11月上旬(予定))
試験会場	大阪会場*	大阪会場*
合格発表	10月下旬(予定)	12月上旬(予定)

*東京会場での実施については検討中です

入試に関する日程や試験会場は、
決定次第 WEB 上で速やかに公表します

阪大 法科大学院

